

認定 NPO 法人ザンビアの辺地医療を支援する会

ORMZ ニュース第 108号 (R2.7.21)

事務局：宮崎市生目台西 4-7-7 (メール info@ormz.or.jp) 文責：日高良雄



はじめに 集中豪雨が九州はもとより、西日本、東日本と大きな被害を起こしています。熊本を始め九州各地で多くの人が亡くなり、家や田畑が浸水し、大きな被害となっています。私の同僚も熊本へ支援に出かけました。来週には部下も支援に行きます。コロナウイルス感染症の影響もありボランティアも限定されていて人手が足りないようです。雨が早く上がり、復興が進むことを祈るばかりです。

新型コロナウイルス感染症も東京はじめ各地で再び感染者が増加してきました。一人一人の感染防止対策、会社や施設における全体での感染対策が大切ですね。

当法人の活動も、ザンビアでの感染状況等からまだまだ再開の目途は立たない状況です。それでも活動できるようになったときに向けて準備を進めていますので、引き続きのご支援よろしくお願ひします。

今回のニュースでは、事務局活動報告やザンビアの新型コロナ感染症の状況、在ザンビア日本大使館ホームページから得た情報などをお伝えします。

*久しぶりに青空が広がっています(宮崎 19 日)

事務局活動報告

今後の活動について役員で様々な協議を行っています。

とりあえず、現地の状況を連絡してもらっているマコトさんを通じて、日本から現金をザンビアへ送金し、辺地で足りなくなっている薬を届けることを考えています。現地スタッフには、医薬品の購入とその配送をお願いする予定です。その際も感染防止のためマスクを着用し、できる限り現地での滞在時間を短くするようお願いする予定です。

また支援者の方から「ザンビアにマスクを送りたいがどうしたらよいか」との相談もありました。残念ながらザンビアへの郵便事情はとて悪く、また現地事務所には常駐する人がいないため受け取ることできないこと、大使館を通じた方法も検討したのですが、大使館も新型コロナウイルス感染症の影響でリモートワークになっておられるようで、対応が難しく断念していただきました。ある医療機器メーカーさんからは、「アジア諸国やアフリカ諸国で何かお力添えできないか検討している。使用環境等によらない、生体情報が取得できる小型可搬型の機器があれば使ってみる価値はあると感じますでしょうか。遠隔診察の一種になりますが、実際の医療現場とのギャップがあることは重々承知ですが、医療僻地等の問題の解決助力になり得ると考えております。」との問い合わせがあり、ザンビアの状況を教えていただきたいとの連絡がありました。現地のほこりの多い状況では精密機械では故障が予想されることや、そのような機械を辺地の場所に置いておくこともできないことなどをお伝えしている状況です。



ザンビアの新型コロナウイルス感染症等の状況

感染者数の推移等	3月26日	感染者	3名
	4月23日	感染者	74名

5月25日	感染者	920名	死亡者	7名
6月8日	感染者	1200名	死亡者	10名
7月17日	感染者	2283名	死亡者	82名

ザンビア政府は、新型コロナウイルス感染症の水際対策を強化し、ザンビアに入国する全ての自国民及び外国人に対して、政府指定の施設における最低14日間の検疫を義務化（上記検疫に係る費用は自己負担）。空港到着の際の手続きとして、簡易PCR検査が導入されました。

観光ビザの発給はすべて中止されています。

在ザンビア日本大使館情報（ホームページより引用）

令和2年7月14日、財務省内において、水内龍太駐ザンビア日本国大使とブワリャ・ンガンドゥ財務大臣との間で、令和2年度の無償資金協力コッパーベルト州における保健センターの郡病院への改善計画」に関する書簡交換式が行われました。本計画は26.54億円を上限として、コッパーベルト州キトウェ郡及びンドラ郡において、各1箇所の保健センターを、基礎的な医療を提供する一次レベル病院にアップグレードするものです。



コッパーベルト州に位置する国内第2、第3の人口を有するキトウェ郡（人口約69万人）及びンドラ郡（約55万人）には、軽傷治療、予防接種、正常分娩等の基本的な保健サービスを提供する保健センターは約30箇所ずつあるものの、簡易な手術や帝王切開等の基礎的な医療を提供できる一次及び二次レベルの公的医療機関がなく、既存の三次レベル病院への負荷が高い状況にあります。三次レベル病院の負荷を軽減しつつ、より多くの住民が基礎的な医療にアクセスできるよう一次レベル病院を整備することが喫緊の課題とされています。

本プロジェクトによって、両郡において一次レベル病院が整備されることにより、年間5,000件の通常分娩と10,000件以上のX線撮影が可能になることが見込まれており、周辺の住民に対する医療サービスの質の改善と住民の健康増進が期待されます。また、三次レベル病院への患者紹介件数が、両郡において年間約1,000件ずつ減少することが見込まれており、キトウェ郡及びンドラ郡の保健医療システムの強化が期待されます。 **（事務局より）** 一次レベル病院が整備され、通常分娩やX線撮影が可能になることで多くの住民の健康増進が図られるとうれしいですね。

賛助会費の納入と寄附受領証明書の送付について

- ・2020事業年度（事業年度は1月から12月）の賛助会費（個人一口5000円、団体一口10000円、一口以上）及びご寄附（金額は問いません）のご協力をよろしくお願いいたします。
- ・当法人は認定NPO法人（2020年1月から5年間の認定更新を受けています）であり、ご寄附（賛助会費含む）をいただいた際には、翌年の確定申告で税制上の優遇措置を受けるための寄附受領証明書（賛助会費も寄附金と同様税控除の対象）をお届けします。
- ・ご不明の点は日高（info@ormz.or.jp または hidaka1956@gmail.com）までご連絡ください。

- ★郵ちょ銀行からの振替

口座記号	01720-9	口座番号	126351
加入者名	NPO法人ザンビアの辺地医療を支援する会		
- ★他の金融機関からの送金

郵ちょ銀行	口座記号：01720-9	、	口座番号：0126351
加入者名	： NPO法人ザンビアの辺地医療を支援する会		
カナ名称（全角）	： トクヒ）ザンビアノヘンチイリョウヲシエンズルカイ		

多くの皆様のご支援を心からお願い申し上げます。